

【短報】本州でのカギツメヒゲトコメツキの記録

カギツメヒゲトコメツキ *Aulonothroscus laticollis* (Rybinski, 1897) は、雄の中脚節に特異な鉤状突起をもつヒゲトコメツキ科の一種である。その特徴は野村・平野 (2014) によって詳しく解説されている。また、雄交尾器の形態もきわめて特徴的である。

本種はヨーロッパからロシア極東部にかけて広く分布し、日本においては北海道から初めて報告された (平野, 2013)。雌は通常の脚節で、神奈川県丹沢産の雌と思える標本があり、本州産の雄の標本は、東京都奥多摩町から初めて報告された (亀澤, 2014)。その後、筆者らは福島県と山梨県において採集された雄の標本を確認したので雌の記録と併せて報告する。

1♂, 福島県南会津ミカワ林道, 23. VI. 1990, 和泉敦夫採集。



図2. カギツメヒゲトコメツキの雄交尾器 (左) と雄中脚節 (右)。



図1. カギツメヒゲトコメツキの全形図。

1♂, 山梨県甲州市大菩薩嶺千石平～上日川峠, 22. V. 2008, 齋藤理採集。

1♀, 神奈川県東丹沢堂平, 13. VI. 1987, 平野幸彦採集。

恐らく本種は北海道と本州の山地に広く分布しているのではないかと考えている。

標本をいただいた益本仁雄博士と故和泉敦夫氏に感謝する。

引用文献

- 平野幸彦, 2013. 日本産ヒゲトコメツキ科について. 神奈川虫報, (180): 27-31.
 亀澤 洋, 2014. 東京都から採集されたカギツメヒゲトコメツキの記録. 月刊むし, (525): 58.
 野村周平・平野幸彦, 2014. これは一体何だ?!—カギツメヒゲトコメツキ (ヒゲトコメツキ科) 中脚節の走査型電子顕微鏡による観察—。さやばね ニューシリーズ, (13): 17-20.

(平野幸彦 250-0865 小田原市蓮正寺 585-29)
 (齋藤 理 223-0062 横浜市港北区日吉本町 5-31-11)

【訂正】

本誌 14 号 22-25 ページの短報「興味深いヒラタムシ上科およびゴミムシダマシ上科の記録」の 23 ページの図の説明で、以下の誤りがあったので、訂正しておく。

- 誤) 6, クロオビツヤヒメマキムシ; 7, ムネナガホソカタムシ
 正) 6, ムネナガホソカタムシ; 7, クロオビツヤヒメマキムシ

(生川展行 513-0015 鈴鹿市木田町 2399)